

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身体障害者通所施設維持管理				整理番号	271	枝番号			
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131	連絡先電話番号	3783	昨年度整理番号	309		
係名		管理係		上位施策名				No			
予算事業名		障害者施設維持管理		コード	37650	障害者の社会参加や就労機会の拡大					
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 身体障害者福祉法 (2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則 (3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	こすもす生活園、なのはな生活園（施設） （平成15年4月「なでしこ生活園」が新規に開設）		活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			活動指標名(式)					
	利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。		意図（対象をどのような状態にしたいのか） 利用者が快適で安全な環境の中でさまざまな活動を行うことができるように施設が維持できている。			(1) 施設延べ床面積 (2) 保守委託契約件数					
成果指標名(式) (1) 不具合件数 (2)											
区分		単位	12年度実績	13年度実績	14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%		
					計画	実績		18年度			
指標	活動指標(1)		㎡	1,813.25	1,813.25	1,813.25	1,813.25	2,292.21	2,292.21	79.1	
	活動指標(2)		件	15	15	11	11	19	19	57.9	
	成果指標(1)		回	2	9	0	9	0	0		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,706	21,744	34,830	32,866	24,495	特記事項		
	(内)委託費		千円	9,689	9,593	9,692	9,278	12,530	平成15年度に、新規施設として「なでしこ生活園」を開設した。 施設運営については、従来の身体障害者デイサービス事業に対する補助制度に代わり、平成15年度に支援費制度が導入された。それに伴い、当課の歳入となっていた国及び都の補助金は廃止され、新たに身体障害者デイサービス事業に係る居宅支援費が障害者施策課の歳入として処理されることになった。		
	職員数(正規 非常勤)		人	3.40 0.00	4.25 0.00	4.17 0.00	4.34 0.00	6.13 0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	30,882	38,603	37,876	39,420			55,679
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	50,588	60,347	72,706	72,286	80,174			
	単位あたりコスト ÷		円	27,899	33,281	40,097	39,865	34,977			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	38,014	41,220	39,593	39,981			187
		特定財源計 +		千円	38,014	41,220	39,593	39,981			187
差引:一般財源 -		千円	12,574	19,127	33,113	32,305	79,987				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		各施設とも施設維持経費の節減に努め、保守委託の見直し等を進めてきた。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測		特別な配慮が必要な重症な利用希望者の増加や、現利用者の高齢化・重度化に伴って、施設整備の対応が必要となる。実施計画に基づき平成15年度に新規1施設が開設したが、数年後には定員を満たすことが予測される。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	94.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	課題について、引き続き検討を行っていくこととした。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：施設の運営に際しては、安全で快適な設備環境を保全することは欠かせない。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：重度身体障害者通所施設は当分の間直営で行う方針であるため。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由：施設の維持、保守等は民間業者に委託して実施しており、現行で最大限の縮減とトラブル等の抑制に努めている。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由：				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：対象は条例で規定されているので、変更は困難である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：施設の維持管理にあたっては、契約方法及び仕様の見直し等に向けて引き続き努力するが、現在のところ経費の節減につながる有効な手立ては見出せない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 受益者負担については、支援費制度への新たな取り組みの中で検討する。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 身障施設については、少なくとも今後数年間は利用者の増加が見込まれること以外の大きな状況変化はなく、施設の維持管理経費として従来と同様に最低限必要な見積内容を考えている。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身体障害者通所施設給食運営				整理番号	272		枝番号							
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131		連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	310					
係名				管理係				上位施策名		No						
予算事業名				こすもす生活園事業運営		コード	36250		障害者の社会参加や就労機会の拡大			33				
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 身体障害者福祉法 (2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則 (3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱									
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他											
	こすもす生活園、なのはな生活園の利用者（重度の身体障害者） 平成15年4月「なでしこ生活園」が新規に開設				活動指標名(式)				(1) 利用者に提供する給食数 (2)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 給食用食材の購入及び調理を業者に委託し、利用者に給食を提供する。				意図（対象をどのような状態にしたいのか） 良質でバランスのとれた食事を摂取する。 利用者が身体及び口腔機能の状況に応じた食事をとれるようにする。				成果指標名(式) (1) 給食提供達成率 = (提供給食数 / 提供給食予定数 (= 利用者数 × 提供延日数 × 利用者の年間出席想定率)) × 100 (2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値	目標値に対する14年度の達成率%				
							計画	実績			18年度					
指標	活動指標(1)		食	9,308		8,733		10,052		8,960		12,428		13,169	68.0	
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	94.4		87.8		100.0		88.6		95.0		100.0	88.6	
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23,530		23,496		24,141		24,029		28,822		特記事項		
	(内)委託費		千円	23,474		23,446		23,930		23,828		28,344		平成15年度に、新規施設として「なでしこ生活園」を開設した。 受益者負担について ・平成14年度まで...20歳未満の利用者の保護者の所得が一定額以上の場合、一食当り369円の食材料費を徴収し、20歳以上の利用者は本人徴収がないため免除。 ・平成15年度から...すべての利用者から前記の食材料費(15年度の金額は上記と同じ)を徴収。		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.42	0.00	0.63	0.00	0.62	0.00	0.62	0.00	1.05	0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,815		5,722		5,631		5,586		9,492			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 + +		千円	27,345		29,218		29,772		29,615		38,314				
	単位あたりコスト ÷		円	2,938		3,346		2,962		3,305		3,083				
	財源	受益者負担分		千円	431		284		216		164		623			
		国・都等からの支出金		千円	2,459		2,621		2,721		2,796		3,189			
		特定財源計 +		千円	2,890		2,905		2,937		2,960		3,812			
差引:一般財源 -		千円	24,455		26,313		26,835		26,655		34,502					
受益者負担比率 ÷		%	1.6		1.0		0.7		0.6		1.6					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		利用者の高齢化や障害の重度化が進行し、利用者の食形態が多様化してきている。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		個々の利用者の状況に即した食事内容及び食形態などの給食サービスに対する要望が強い。													
	今後の予測		施設利用者の障害の重度化及び多様化や平均年齢の上昇、食品衛生意識の高まりなどに伴い、よりきめ細かな栄養面での支援、衛生管理及び摂食支援が求められ、給食運営の重要性がますます増してくる。													

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	89.1	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	99.5
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	給食運営経費の大部分は委託経費であり、基本委託料部分は節減不可能だが、業者に注文する食数の算定をより厳密に行うことにより、わずかだが経費の節減に努めた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平成15年度から、全利用者に対し給食材料費を徴収することになった。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：重度の肢体不自由者の摂食援助として重要な役割を持つとともに、利用者の健康管理にも大いに貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：重度身体障害者通所施設は当分の間直営で行う方針であるため。				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由：各施設ともに民間業者に調理等を委託している。給食運営については引き続き充実に向けて努力するが、現在おおむね十分な成果を得ている。ただし、医療的ケアを要する入所者など、障害の重度化に対応した個々人の成果の維持・向上は必要となる。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：平成15年度から全利用者に対して給食材料費の自己負担をしてもらうことになり、これ以上の負担は困難である。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：利用者全員への給食提供は、重度身体障害者のデイサービス事業を実施するためには不可欠であるため、対象の縮小は困難である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：提供する食数は利用者数に応じて決まっており、食材料費は東京都の標準単価を準用しているため、コストを下げることは困難である。ただし、今後支援費制度への新たな取り組みの中で、コスト節減の可能性等について検討する必要も生じてくる。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 支援費制度がスタートし、新しい理念のもとでの福祉サービスの充実を図っていく中で、給食についても利用者個々人の身体状況や意向などに合わせたよりきめ細かなサービスの提供を具体化し、実施していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 医療的ケアを要する利用者の受け入れを本格的に行っていくために、安全かつ的確な摂食支援をどのように行っていくかについて、慎重な対応が求められる。そのために、日々の業務内容を検証していくとともに、医療関係者等との密接な連携が従来以上に不可欠となる。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 給食の基本委託料は前年度とほぼ同額を考えているが、利用者の増加に伴う食材料費の若干の増が想定されるため、全体として見積額の微増となる見込みである。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身体障害者通所施設利用者日常生活支援				整理番号	273	枝番号				
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091146	連絡先電話番号	3317-9312	昨年度整理番号	312			
係名		こすもす生活園			上位施策名			No				
予算事業名		こすもす生活園事業運営		コード	36250	障害者の社会参加や就労機会の拡大			33			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 身体障害者福祉法 (2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則 (3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 こすもす生活園、なのはな生活園の利用者（重度の身体障害者） 平成15年4月「なでしこ生活園」が新規に開設											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 個別支援計画の策定・実施、機能訓練、社会適応支援、創作的活動、スポーツ・レクリエーション、健康管理の支援、更生相談、入浴サービス（*） * なでしこ生活園を除く。				活動指標名（式） (1) 施設利用者数 (2) 延べ通所人数							
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 利用者がさまざまな活動や経験を通して、地域社会で生活するための意欲や能力を高める。 利用者の健康維持を図るため健康管理の支援や健康相談を行う。				成果指標名（式） (1) 通所率 = [延べ通所人数 / (入所者数 × 開所日数)] × 100 (2)							
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		18年度		
指標	活動指標(1)		人	50	52	52	52	60	62	83.9		
	活動指標(2)		人	8,672	8,673	12,272	9,253	12,707	14,141	65.4		
	成果指標(1)		%	75	72	100	75	100	100	75.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,807	3,471	3,400	3,063	5,773	特記事項 平成15年度に「なでしこ生活園」を開設した。 平成15年度に、医療的ケアの本格実施に伴い、非常勤看護師をこすもす・なのはな生活園に各1名配置した。			
	(内)委託費		千円	53	25	14	11	42				
	職員数(正規 非常勤)		人	31.72 0.00	33.29 0.00	33.51 0.00	33.06 0.00	36.22 2.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	288,113	302,373	304,371	300,284				328,986
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				5,870
	総事業費 + +		千円	290,920	305,844	307,771	303,347	340,629				
	単位あたりコスト ÷		円	5,818,400	5,881,615	5,918,673	5,833,596	5,677,150				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	290,920	305,844	307,771	303,347	340,629					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		加齢に伴う障害の重度化と家庭における介護者(主に家族)の高齢化によるニーズの多様化が顕著である。 医療的ケアが必要な利用者が増加している。 支援費制度へ移行した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		個々の利用者の状況に即したサービスの実施が求められている。									
	今後の予測		利用者の高齢化、重度化がいつそう進む。 医療的ケアの本格的な実施に伴い、ケアを必要とする利用者のいつそうの増加が見込まれる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	75.4	14年度予算執行率%	90.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	医療的ケアの本格的実施に伴い、非常勤看護師をこすもす・なのはな両生活園に各1名配置した。 なでしこ生活園を開設した。 水曜日の利用時間を延長した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：重度身体障害者のデイサービスは、地域での生活をより豊かにするためになくてはならない事業である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：重度身体障害者通所施設は当分の間直営で行う方針であるため。				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 事業費・活動量の増加	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由：				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：対象者は条例で規定されているので、対象の縮小は困難である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(その他)	理由：				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 受益者負担については、現在でも個人に還元するようなものについては行っているが、さらに支援費制度への新たな取り組みの中で検討する。 一人ひとりの生活が豊かになるような視点でケアマネージメント的手法を取り入れ、民間を含めた様々なサービスをコーディネートすることにより、経費の節減も考慮しながら、デイサービスの事業内容の向上を図る。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。 デイサービス事業のさらなる充実を目指すためには、限られた予算の執行だけでは限界があるため、ボランティアの育成が必要となる。そのために、地域生活支援組織への協力依頼を行い、研修の場を提供する。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	利用者数の若干の増加が想定されるが、事業内容及び経費の大幅な変更は予定していないため。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身体障害者通所施設各種行事等				整理番号	274		枝番号							
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091146		連絡先電話番号	3317-9312		昨年度整理番号	313					
係名					こすもす生活園					上位施策名		No				
予算事業名					こすもす生活園事業運営					コード		36250				
										障害者の社会参加や就労機会の拡大		33				
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 身体障害者福祉法									
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則									
	こすもす生活園、なのはな生活園の利用者（重度の身体障害者）とその家族、地域住民等 平成15年4月「なでしこ生活園」が新規に開設				(3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)											
各施設のまつり〔14年度...こすもす祭り（こすもす生活園）、荻窪小学校地域子育てネットワーク「秋祭り」（なのはな生活園）/15年度...せいびほりなん祭（こすもす生活園）、「秋祭り」（なのはな生活園）、杉の子祭（なでしこ生活園）〕 社会適応支援 宿泊行事(14年度で廃止)				(1) まつり参加者数 (2)												
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)												
社会経験を積む貴重な機会とするとともに、他者とのコミュニケーションを図る。主体的に行動が取れるようになり、自立心が身につく。				(1) 利用者のまつり参加率 (2)												
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
							計画		実績		18年度					
指標	活動指標(1)		人	1,823		1,682		1,700		1,685		2,700		2,700	62.4	
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	90		77		100		80		100		100	80.0	
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,735		1,754		2,356		1,413		772		特記事項 平成14年度を最後として、宿泊行事を廃止した。		
	(内)委託費		千円	0		77		77		77		0				
	職員数(正規 非常勤)		人	3.47	0.00	3.45	0.00	3.37	0.00	3.32	0.00	3.82	0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	31,518		31,336		30,610		30,156		34,697			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 + +		千円	33,253		33,090		32,966		31,569		35,469				
	単位あたりコスト ÷		円	18,241		19,673		19,392		18,735		13,137				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0			
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0			
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	33,253		33,090		32,966		31,569		35,469					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		障害の程度の差異が大きくなっていることや、加齢に伴う体力の低下が顕著な利用者もあり、園として宿泊を伴う行事の実施が困難な状況になってきたため、平成14年度で宿泊行事を廃止した。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		地域住民から、地域の連携、コミュニティ形成の一環として期待されている。地域住民のボランティアの活動の場として期待されている。施設利用者から地域の行事への参加希望がでている。													
	今後の予測		社会適応支援、まつりについては、障害者が社会参加し、自己実現を図るために需要は増加する。													

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	99.1	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	60.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	宿泊行事で利用者の不参加があったことにより、参加予定人数に基づく予算額に対して、執行残が生じたため。				
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	宿泊行事、こすもす祭を廃止し、新たな行事に組み替えたことにより予算が削減となった。個々の利用者に見合った社会適応支援の場や回数を増やした。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：利用者の自立を支援し、地域の中で生きる力をつけるためには、なくてはならない事業である。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：重度身体障害者通所施設は当分の間直営で行う方針であるため。			
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由：			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか できる(改革案の概要へ)	理由：			
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：現状でも最低限の費用で実施している。			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 行事の見直しを図るとともに、参加する地域住民等の拡大に努める。なのはな生活園では従来から「秋祭り」として地域事業としての積極的な取り組みがなされており、15年度からはこすもす生活園でも施設での「こすもす祭り」から地域での共催事業としての「せいびほりなん祭」に転換し、併設児童館との共催事業としてまつりをスタートさせたなどこ生活園とともに、今後実施状況を検証しながら、地域の重要な行事として定着させるための本格的な取り組みを行っていく。 受益者負担については、支援費制度への新たな取り組みの中で検討する。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 地域での行事を効果的に実施するには、施設での努力だけでは限界がある。施設内での検討・実施準備と並行して、行事の経過と意義を関係者等に周知理解を深めてもらうとともに、行事に関わる各機関、施設等との綿密な連携を図る。 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	利用者数の若干の増加が想定されるが、事業内容及び経費の大幅な変更は予定していないため。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者更生施設維持管理				整理番号	296		枝番号						
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131		連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	293				
係名				管理係				上位施策名		No					
予算事業名				障害者施設維持管理		コード	37650		障害者の社会参加や就労機会の拡大		33				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 知的障害者福祉法				(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則								
	すぎのき生活園(施設)														
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				利用者にとって快適な施設を維持するために、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。				活動指標名(式)				(1) 施設延べ床面積			
												(2) 保守委託契約件数			
意図(対象をどのような状態にしたいのか)				利用者が、快適で安全な環境の中で生活及び作業活動を行うことができるように、施設が維持できている。				成果指標名(式)				(1) 不具合件数			
												(2)			
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度計画		14年度実績		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
												18年度			
指標	活動指標(1)		㎡	2,432.11		2,432.11		2,432.11		2,432.11		2,432.11		100.0	
	活動指標(2)		件	21		21		10		10		9		90.0	
	成果指標(1)		回	5		6		0		14		0			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	21,820		20,048		19,056		17,868		18,500		特記事項 平成15年度に措置制度から支援費制度に変更となった。	
	(内)委託費		千円	9,759		9,723		9,384		7,952		8,462			
	職員数(正規 非常勤)		人	6.62	0.00	5.75	0.00	4.80	0.80	6.37	0.80	6.52	0.80		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	60,129		52,227		43,598		57,859		59,221		
		非常勤職員分		千円	0		0		2,348		2,348		2,348		
	総事業費 + +		千円	81,949		72,275		65,002		78,075		80,069			
	単位あたりコスト ÷		円	33,695		29,717		26,727		32,102		32,922			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	1,623		1,624		1,627		2,158		2,908		
		特定財源計 +		千円	1,623		1,624		1,627		2,158		2,908		
差引:一般財源 -		千円	80,326		70,651		63,375		75,917		77,161				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		従前から施設維持経費の節減に努め、保守委託の見直し等を進めてきた。空調設備については、区で初のソーラー設備を導入したが、平成11年度にGHP方式(ガスによる空調方式)に切り替えた。平成13年度までは2施設(すぎのき生活園、けやき生活園)に分かれていたが、同14年度に両施設を統合することにより、更に一体的かつ効率的な施設管理を行っている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)														
	今後の予測		建物及び設備が老朽化し、トラブルが多くなっていく。経年化に対応した適切な保守委託等を実施する必要がある。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	93.8
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	課題について、引き続き検討を行っていくこととした(特に、施設の民営化については授産施設の今後の移管状況の検証なども踏まえ、段階的な検討及び取り組みが必要となる。)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:更生施設の運営に際しては、安全で快適な設備環境を保全することは欠かせない。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由:施設の維持、保守等は民間業者に委託して実施しており、現行で最大限の縮減とトラブル等の抑制に努めている。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:対象は障害者福祉法に規定されており、変更は困難である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:施設の維持管理に当たっては、契約方法及び仕様の見直し等に向けて引き続き努力するが、現在のところ経費の節減につながる有効な手立は見出せない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 受益者負担については、支援費制度への新たな取り組みの中で検討する。 スマートすぎなみ計画に基づく施設の民営化については、授産施設の民間への移管状況、民営化の効果を見極めながら進めていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。 民営化の推進にあたっては、実施時期や円滑な移管方法等について慎重な検討を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	更生施設については、少なくとも今後2、3年間は利用者の増加が見込まれること以外の大きな状況変化はなく、施設の維持管理経費として従来と同様に最低限必要な見積内容を考えている。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者更生施設給食運営				整理番号	297		枝番号							
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131		連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	294					
係名				管理係				上位施策名		No						
予算事業名				すぎのき生活園事業運営				コード		35750		障害者の社会参加や就労機会の拡大		33		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 知的障害者福祉法				(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		すぎのき生活園の利用者(重度の知的障害者)				(3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				給食用食材の購入及び調理を業者に委託し、利用者に給食を提供する。				活動指標名(式)				(1) 利用者に提供する給食数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				良質でバランスのとれた食事を摂取する。社会生活に必要な食事のマナーなどが向上する。				成果指標名(式)				(1) 給食提供達成率 = (提供給食数 / 提供給食予定数 (= 利用者数 × 提供延日数 × 利用者の年間出席想定率)) × 100			
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画		目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
							計画		実績		18 年度					
指標	活動指標(1)		食	11,536		12,009		16,501		13,279		17,152		18,238	72.8	
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	85.7		90.4		100.0		89.5		95.0		100.0	89.5	
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	22,568		24,164		24,825		24,190		25,257		特記事項		
	(内)委託費		千円	21,695		21,646		22,673		21,940		23,149				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.70	0.00	0.70	0.00	0.63	0.10	0.70	0.10	0.70	0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,358		6,358		5,722		6,358		6,358			
		非常勤職員分		千円	0		0		294		294		294			
	総事業費 + +		千円	28,926		30,522		30,841		30,842		31,909				
	単位あたりコスト ÷		円	2,507		2,542		1,869		2,323		1,860				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0			
		国・都等からの支出金		千円	3,142		3,676		3,048		3,590		3,283			
		特定財源計 +		千円	3,142		3,676		3,048		3,590		3,283			
差引:一般財源 -		千円	25,784		26,846		27,793		27,252		28,626					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		すぎのき生活園は平成13年度までは2施設(すぎのき生活園・けやき生活園)に分かれており、旧すぎのき生活園については、開設当初の区の調理職員による給食調理から平成9年度に業者委託となり、一方の旧けやき生活園については、平成5年度の開設当初から業者委託されていた。平成14年度の両施設の統合により、それまで別々に委託してきた業者が一本化された。													
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		給食を提供することは、利用者の大きな楽しみであるとともに、利用者の家族からの期待も高い。													
	今後の予測		施設の利用者の障害の重度化及び多様化や平均年齢の上昇、食品衛生意識の高まりなどに伴い、よりきめ細かな栄養面での支援、衛生管理及び摂食支援が求められ、給食運営の重要性がますます増してくる。													

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	80.5	活動指標(2)の14年度達成率%		14年度予算執行率%	97.4
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	給食運営経費の大部分は委託経費であり、基本委託料部分は節減不可能だが、業者に注文する食数の算定をより厳密に行うことにより、わずかだが経費の節減に努めた。一方、利用者の急な欠席に伴い生じた給食の余りについては、当該日に事務職員等が極力買い上げることで、歳入(諸収入)の確保にも寄与した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	課題について、引き続き検討を行っていくこととした(特に、施設の民営化については授産施設の今後の移管状況の検証なども踏まえ、段階的な検討及び取り組みが必要となる。)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:生活支援の一環として重要な役割を持つとともに、利用者の健康管理にも大いに貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由:すでに民間業者に調理等を委託している。給食運営については引き続き充実に向けて努力するが、現在おおむね十分な成果を得ている。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:利用者全員への提供が義務づけられているため、対象の縮小は困難である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由:現在の制度のもとでは、提供する食数は利用者数に応じて決まっており、食材料費は東京都の標準単価を準用しているため、コストを下げることは困難である。ただし、今後支援費制度への新たな取り組みの中で、コスト節減の可能性等について検討する必要も生じてくる。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 受益者負担については、支援費制度への新たな取り組みの中で検討する。 スマートすぎなみ計画に基づく施設の民営化について、授産施設の民間への移管状況、民営化の効果を見極めながら進めていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。 民営化の推進にあたっては、実施時期や円滑な移管方法等について慎重な検討を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	給食の基本委託料は前年度とほぼ同額を考えているが、利用者の増加に伴う食材料費の若干の増が想定されるため、全体として見積額の微増となる見込みである。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者更生施設利用者通所バスの運行				整理番号	298		枝番号		
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131	連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	295	
係名		管理係			上位施策名				No		
予算事業名		すぎのき生活園事業運営		コード	35750		障害者の社会参加や就労機会の拡大			33	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 知的障害者福祉法 (2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準 (3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他								
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順) 施設の利用者を、民間のバスにより施設まで送迎する。			活動指標名(式)					
	意図		(対象をどのような状態にしたいのか) 施設利用者の通所手段を確保する。			成果指標名(式)					
					(1) バス通所に1時間以上要する利用者数(通所時1回あたり平均) ÷ バス利用者数(通所時1回あたり平均) (2)						
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画	実績		18年度	
指標	活動指標(1)		人	42.2	45.5	60.0	51.2	60.0	70.0	73.1	
	活動指標(2)		回	708	708	711	711	714	714	99.6	
	成果指標(1)		%	42.7	22.0	18.3	23.4	23.3	10.0	234.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	40,215	39,963	39,165	39,155	39,424	特記事項		
	(内)委託費		千円	40,215	39,963	39,165	39,155	39,424			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50 0.00	0.50 0.00	0.61 0.10	0.40 0.10	0.40 0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,542	4,542	5,541	3,633			3,633
		非常勤職員分		千円	0	0	294	294			294
	総事業費 + +		千円	44,757	44,505	45,000	43,082	43,351			
	単位あたりコスト ÷		円	1,060,592	978,132	750,000	841,445	722,517			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	44,757	44,505	45,000	43,082	43,351				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		旧すぎのき生活園については、開設当初の区職員による運行から昭和63年度に業者委託となり、一方の旧けやき生活園は、平成5年度の開設当初から旧すぎのき生活園の通所バスと一体で業者委託し、平成14年度の施設統合後も同様である。また、平日のバスの空き時間及び土曜・日曜日等に施設行事等の臨時運行に活用しているほか、他課からの依頼による行事送迎等にも活用し、バスの有効活用にも努めている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		バスの運行については、利用者の家族から強い支持がある。また、居住地が区内全域にわたるため通所時間が延びてきており、その時間短縮による心身の負担軽減が求められてきている。								
	今後の予測		今後、入所者の増加が見込まれる。								

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	85.3	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要を明記)	入所者の増加に対応するための当面の策として、一部の利用者について、あけぼの作業所で平成15年度から契約した送迎用のワゴン車を利用して同年度から送迎を開始した。その他の課題については、引き続き検討を行っていくこととした(特に、施設の民営化については授産施設の今後の移管状況の検証なども踏まえ、段階的な検討及び取り組みが必要となる。)					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 重度の知的障害者が施設のサービスを受けるためには、通所手段として、送迎バスの運行は欠かせない。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 通所バスの利用対象者を制限した場合、重度の知的障害者の送迎は、家族等の心身の負担となってしまうため。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由:				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 入所者の増加への対応及び長時間乗車する利用者の心身の負担軽減を目的として、受益者負担も視野に入れながら、障害者施設のバス運行のあり方や、代替通所手段の確保、運行契約内容の変更の可能性等について、検討を行う。 スマート杉並計画に基づく施設の民営化について、授産施設の民間への移管状況、民営化の効果を見極めながら進めていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。 民営化の推進にあたっては、サービスの継続や負担について施設利用者及びその家族が不安を抱くことが考えられるため、実施時期や円滑な移管方法等について慎重な検討を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 毎年施設利用者が増加していくに伴い、現行のバスでの運行体制も非常に厳しい状況になっているが、新たな経費増を極力回避するために、16年度については今年度同様に区立障害者施設全体の中で対応していく方針とする。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者更生施設利用者日常生活支援				整理番号	299		枝番号							
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091141		連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	296					
係名		すぎのき生活園				上位施策名			No							
予算事業名		すぎのき生活園事業運営		コード	35750		障害者の社会参加や就労機会の拡大			33						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 知的障害者福祉法 (2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準 (3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則											
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		利用者に対して次のとおり支援する。 (1)生活援助(基本的な生活習慣、生活自立体験等) (2)日中活動等(さまざまな作業その他の活動、健康維持・増進のための活動等)				活動指標名(式)									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		利用者が日常のさまざまな体験を積み、日常生活能力を身につける。また、作業活動を通して社会参加の意欲や力量を高める。				成果指標名(式)									
						(1) 日常生活支援活動及び作業活動における目標設定に対して、成果のあった利用者の割合 (2)										
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
							計画		実績		18年度					
指標	活動指標(1)		人	61		63		76		68		79		84	81.0	
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	83		89		100		85		100		100	85.0	
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,317		8,053		8,702		8,362		9,275		特記事項		
	(内)委託費		千円	29		37		54		28		49				
	職員数(正規 非常勤)		人	29.53	0.53	31.07	0.53	33.05	0.57	31.92	0.57	34.40	0.57			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	268,221		282,209		300,193		289,929		312,455			
		非常勤職員分		千円	1,556		1,556		1,673		1,673		1,673			
	総事業費 + +		千円	277,094		291,818		310,568		299,964		323,403				
	単位あたりコスト ÷		円	4,542,525		4,632,032		4,086,421		4,411,235		4,093,709				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0			
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0			
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	277,094		291,818		310,568		299,964		323,403					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		利用者の障害の重度化や重複化が進んできており、より一人ひとりに対応した活動プログラムが必要とされている。 家族の高齢化により、家庭での介護力が低下してきている。 平成15年度に措置制度から支援費制度に移行し、利用者及び家族の意向をより尊重しながら支援を行っていくことが求められてきている。													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		これからも住み慣れた杉並で生活していけるよう「地域生活支援」施策の充実を強く要望している。													
	今後の予測		支援費制度へ移行したことに伴い、よりいっそうサービスの個別化・選択化に対応したプログラムや事業を設定していくことが求められるとともに、家族への支援を強化していく必要も生じてくる。													

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	89.5	活動指標(2)の14年度達成率%	14年度予算執行率%	96.1
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	支援費制度への移行にむけて、さらにサービスの個別化、選択化に対応したプログラムを実施した。利用者の充実した地域生活のため、その家族にも地域生活支援者としての役割を担ってもらえるよう、園の職員が一体となって、人材育成を継続して行なっている。				
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由:多種多様な活動プログラムにより、利用者の精神の安定や潜在能力の進展が図られ、より社会参加の機会が増え、ノーマライゼーションの実現に貢献している。			
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:			
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:			
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:			
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由:対象は知的障害者福祉法に規定されており、変更は困難である。			
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由:			
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合				
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 受益者負担については、支援費制度への新たな取り組みの中で検討する。 スマートすぎなみ計画に基づく施設の民営化については、授産施設の民間への移管状況、民営化の効果を見極めながら進めていく。 利用者一人ひとりへの支援内容と支援体制のいっそうの充実を図りながら、経費の節減にも努めていくために、さらなる業務内容の見直しや工夫を行っていく。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。 民営化の推進にあたっては、実施時期や円滑な移管方法等について慎重な検討を行う。				
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由	若干の利用者増があるものの、総体として増減はなし。			

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者更生施設各種行事等				整理番号	300		枝番号			
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091141	連絡先電話番号	3399-8953		昨年度整理番号	297		
係名		すぎのき生活園			上位施策名				No			
予算事業名		すぎのき生活園事業運営		コード	35750	障害者の社会参加や就労機会の拡大				33		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 知的障害者福祉法							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準							
	すぎのき生活園の利用者(重度の知的障害者)及びその家族、地域住民等		(3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		盆踊り、施設祭、アルミ缶コンサート(施設内行事) 井草区民センター夏祭り、どんど焼き(施設外行事)		活動指標名(式)							
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		障害者理解の第一歩として、施設へ来場した区民と一緒に行事を楽しむ。 施設利用者が外出し、地域の方と交流して障害者理解を得る。		成果指標名(式)								
				(1) 施設内行事へ参加した利用者の参加割合								
				(2) 施設内行事への全参加者数における区民等参加者の割合								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		18 年度		
指標	活動指標(1)		人	161	178	210	167	225	163	102.5		
	活動指標(2)		人	667	623	645	727	780	505	144.0		
	成果指標(1)		%	88	94	95	84	95	97	86.6		
	成果指標(2)		%	58	51	58	54	58	63	85.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,485	3,605	4,424	3,667	3,879	特記事項 平成15年度を最後として「盆踊り」の開催を取り止めた。			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	3.46 0.30	3.70 0.05	3.71 0.05	4.20 0.05	3.80 0.05				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	31,427	33,607	33,698	38,149				34,515
		非常勤職員分		千円	881	147	147	147				147
	総事業費 + +		千円	35,793	37,359	38,269	41,963	38,541				
	単位あたりコスト ÷		円	222,317	209,882	182,233	251,275	171,293				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	35,793	37,359	38,269	41,963	38,541					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		* 地域へのPR、区民との交流事業は年々定着し、より関係も深まってきている。 * 支援費制度への移行に向けサービスの個別化・選択化、地域生活支援への対応として年間事業のバランス、家族負担を考慮し16年度から「盆踊り」を廃止することとした。 * 利用者個々の興味・関心に応じたのプログラムとして「個別外出」を実施し、地域生活支援にむけて活動を充実した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		* 施設行事は井草地域の住民と交流を図れる有意義な事業として利用者の家族からの要望も高い。 * 利用者の家族の行事の参加について、家族の高齢化などから負担軽減を望む声も多く、今後ともより参加しやすい方法の検討が必要である。									
	今後の予測		支援費制度へ移行したことに伴うサービスの個別化、選択化及び地域支援にむけての取り組みがさらに求められる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	79.5	活動指標(2)の14年度達成率%	112.7	14年度予算執行率%	82.9
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	各行事で利用者の不参加があったことにより、参加予定人数に基づく予算額に対して、執行残が生じたため(宿泊行事が最も差額が大きい)。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	行事についての成果・目標を個々の利用者の計画・まとめをもとに的確に評価できた。社会見学を充実し、個々のニーズに対応した「個別外出」を希望に応じて実施した。家庭での個別外出を側面からサポートするため、支援者の発掘・育成、利用者の家族への支援体制づくりを開始し、継続中である。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由: 季節行事や外出機会の提供により、ノーマライゼーションに基づく利用者の地域生活や社会経験の拡大に貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由:				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由:				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由:				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由: 知的障害者更生施設として、対象者が限定されている。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由: 現状でも必要最小限の経費で実施している。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 受益者負担については、支援費制度への新たな取り組みの中で検討する。 スマートすぎなみ計画に基づく施設の民営化については、授産施設の民間への移管状況、民営化の効果を見極めながら進めていく。 利用者の障害の重度化・多様化が進行する中で、利用者一人ひとりに対応した行事への参加方法を引き続き検討していく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。 民営化の推進にあたっては、実施時期や円滑な移管方法等について慎重な検討を行う。 利用者が行事に参加するための支援については、家族及び関係機関との協力体制が不可欠なので、密接に連携していく。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 利用者の増が見込まれる一方、施設行事の「盆踊り」が15年度をもって廃止となるため若干の予算減になるが、総体としては増減はない。					

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者授産施設維持管理				整理番号	301		枝番号						
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131		連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	298				
係名				管理係				上位施策名		No					
予算事業名				障害者施設維持管理		コード	37650		障害者の社会参加や就労機会の拡大		33				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 知的障害者福祉法								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準								
	あけぼの作業所、あすなる作業所、ひまわり作業所(施設)				(3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)										
利用者が快適な環境で作業を行うため、施設の清掃、設備の保守点検等を実施する。				(1) 施設延べ床面積											
				(2) 保守委託契約件数											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)											
利用者が安全かつ衛生的で良好な環境の中で作業等を行うことができる。				(1) 不具合件数											
				(2)											
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%			
							計画	実績		18	年度				
指標	活動指標(1)		㎡	3,677.58		3,677.58		3,677.58	3,677.58	3,677.58	1,365.75	37.1			
	活動指標(2)		件	28		28		28	28	19	10	35.7			
	成果指標(1)		回	14		18		0	13	0	0				
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	29,632		33,911		34,268		34,006		155,353		特記事項 平成15年度に措置制度から支援費制度に変更となった。 区立知的障害者授産施設は、次のとおり民営化が予定されている。 ・平成16年度...あすなる作業所 ・平成17年度...ひまわり作業所(15~16年度は運営委託) 上記の平成18年度目標値(活動・成果指標)はあけぼの作業所のみデータである。	
	(内)委託費		千円	10,747		11,156		16,809		16,788		143,984			
	職員数(正規 非常勤)		人	8.31	0.10	8.11	0.05	8.34	0.05	8.27	0.05	6.49	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	75,480		73,627		75,752		75,153		58,931		
		非常勤職員分		千円	294		147		147		147		0		
	総事業費 + +		千円	105,406		107,685		110,167		109,306		214,284			
	単位あたりコスト ÷		円	28,662		29,281		29,956		29,722		58,268			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国・都等からの支出金		千円	33,187		36,700		37,730		33,955		39,526		
		特定財源計 +		千円	33,187		36,700		37,730		33,955		39,526		
差引:一般財源 -		千円	72,219		70,985		72,437		75,351		174,758				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		各施設とも施設維持経費の節減に努め、保守委託の見直し等を進めてきた。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)														
	今後の予測		建物及び設備が老朽化し、トラブルが多くなっていく。経年化に対応した適切な保守委託等を実施する必要がある。												

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	99.2
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	スマートすぎなみ計画に基づく障害者施設の運営委託及び民営化のスケジュールに従い、ひまわり作業所については平成15年度に運営委託(同17年度に民営化予定)を行った。一方、あすなる作業所については同16年度に民営化するための検討及び準備を行った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：授産施設の運営に際しては、安全で快適な設備環境を保全することは欠かせない。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由：				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由：施設の維持、保守等は民間業者に委託して実施しており、現行で最大限の縮減とトラブル等の抑制に努めている。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由：				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：対象は知的障害者福祉法に規定されており、変更は困難である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：施設の維持管理に当たっては、契約方法及び仕様の見直し等に向けて引き続き努力するが、現在のところ経費の節減につながる有効な手立ては見出せない。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 受益者負担については、支援費制度への新たな取り組みの中で検討する。 スマートすぎなみ計画に基づくあすなる・ひまわり作業所の民間への移管状況、民営化の効果を見極めながら、あけぼの作業所についても検討を進めていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。 民営化の推進にあたっては、実施時期や円滑な移管方法等について慎重な検討を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	スマートすぎなみ計画に基づき、平成16年度にあすなる作業所を民営化する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者授産施設給食運営				整理番号	302		枝番号									
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131		連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	299							
係名				管理係				上位施策名			No							
予算事業名				あけぼの作業所事業運営				コード			35950		障害者の社会参加や就労機会の拡大		33			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 知的障害者福祉法				(2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				給食用食材の購入及び調理を業者に委託し、利用者に給食を提供する。				活動指標名(式)				(1) 利用者に提供する給食数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				良質でバランスのとれた食事を摂取する。社会生活で必要な食事のマナーなどが向上する。				成果指標名(式)				(1) 給食提供達成率 = [提供給食数 / 提供給食予定数 (= 利用者数 × 提供延日数 × 利用者の年間出席想定率)] × 100					
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値		目標値に対する14年度の達成率%					
							計画		実績		18年度							
指標	活動指標(1)		食	32,763		32,953		40,899		35,003		26,884		15,327	43.8			
	活動指標(2)																	
	成果指標(1)		%	89.4		88.2		95.0		88.8		95.0		100.0	88.8			
	成果指標(2)																	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	36,191		38,519		41,701		40,847		28,412		特記事項				
	(内)委託費		千円	35,931		36,365		37,351		36,881		26,102		栄養士配置経緯...H12.11.1あけぼの作業所に常勤1名配置(障害者福祉課から異動)。H13.4.1あすなろ作業所、H14.8.1ひまわり作業所に各パート1名配置。区立知的障害者授産施設の民営化の予定...平成16年度にあすなろ作業所、同17年度にひまわり作業所が民営化(ひまわり作業所は15~16年度は運営委託)。上記の平成18年度目標値(活動・成果指標)は、あけぼの作業所からのみデータである。				
	職員数(正規 非常勤)		人	2.16	0.00	2.16	0.15	2.15	0.00	2.15	0.30	1.64	0.20					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	19,619		19,619		19,528		19,528		14,896					
		非常勤職員分		千円	0		440		0		881		587					
	総事業費 ++		千円	55,810		58,578		61,229		61,256		43,895						
	単位あたりコスト ÷		円	1,703		1,778		1,497		1,750		1,633						
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0					
		国・都等からの支出金		千円	2,030		1,912		1,138		2,126		1,142					
		特定財源計 +		千円	2,030		1,912		1,138		2,126		1,142					
差引:一般財源 -		千円	53,780		56,666		60,091		59,130		42,753							
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		あけぼの作業所及びあすなろ作業所については、開設当初は区の調理職員により給食調理が実施されていたが、あけぼのは平成8年度から、あすなろは同12年度からそれぞれ業者委託された。ひまわり作業所は、開設時は仮施設で弁当購入により対応していたが、平成7年4月の本施設開所時に業者に委託している(ひまわり作業所は平成15年度から社会福祉法人に施設の運営を委託している。)															
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		給食を提供することは、利用者の大きな楽しみであるとともに、利用者の家族からの期待も高い。															
	今後の予測		施設利用者の障害の重度化及び多様化や平均年齢の上昇、食品衛生意識の高まりなどに伴い、よりきめ細かな栄養面での支援や衛生管理が求められ、給食運営の重要性がますます増してくる。															

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	85.6	活動指標(2)の14年度達成率%	98.0	14年度予算執行率%	98.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	給食運営経費の大部分は委託経費であり、基本委託料部分は節減不可能だが、業者に注文する食数の算定をより厳密に行うことにより、わずかだが経費の節減に努めた。一方、利用者の急な欠席に伴い生じた給食の余りについては、当該日に摂食援助を担当しない職員等が極力買い上げること、歳入(諸収入)の確保にも寄与した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	スマートすぎなみ計画に基づく障害者施設の運営委託及び民営化のスケジュールに従い、ひまわり作業所については平成15年度に運営委託(同17年度に民営化予定)を行った。一方、あすなる作業所については同16年度に民営化するための検討及び準備を行った。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：生活支援の一環として重要な役割を持つとともに、利用者の健康管理にも大いに貢献している。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由：				
	(3) 成果を向上させることができますか できない(理由) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ	理由：各施設ともに民間業者に調理等を委託している。給食運営については引き続き充実に向けて努力するが、現在おおむね十分な成果を得ている。				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由：				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることができますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：利用者全員に給食提供が義務づけられているため、対象の縮小は困難である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：現在の制度のもとでは、提供する食数は利用者数に応じて決まっており、食材料費は東京都の標準単価を準用しているため、コストを下げることは困難である。ただし、今後支援費制度への新たな取り組みの中で、コスト節減の可能性等について検討する必要も生じてくる。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 受益者負担については、支援費制度への新たな取り組みの中で検討する。スマートすぎなみ計画に基づくあすなる・ひまわり作業所の民間への移管状況、民営化の効果を見極めながら、あけぼの作業所についても検討を進めていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。民営化の推進にあたっては、実施時期や円滑な移管方法等について慎重な検討を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	スマートすぎなみ計画に基づき、平成16年度にあすなる作業所を民営化する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者授産施設利用者通所バスの運行				整理番号	303		枝番号			
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131	連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	300		
係名				管理係		上位施策名			No			
予算事業名				あけぼの作業所事業運営		コード	35950		障害者の社会参加や就労機会の拡大			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 知的障害者福祉法 (2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準 (3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		あけぼの作業所の利用者のうち、自主的な通所ができない者等。					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				自主的な通所が困難な施設利用者を、民間のバスにより施設まで送迎する。		活動指標名(式) (1) バス利用者数(1日あたり平均) (2) バス運行回数(1通所1回×台数(1台))					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				自主的な通所の困難な施設利用者の通所手段を確保する。		成果指標名(式) (1) バス通所に1時間以上要する利用者数(通所時1回あたり平均)÷バス利用者数(通所時1回あたり平均) (2)					
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値	目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		18 年度		
指標	活動指標(1)		人	14.2	16.0	17.0	16.6	18.0	20.0	83.2		
	活動指標(2)		回	240	240	242	242	243	242	100.0		
	成果指標(1)		%	7.0	12.5	17.6	17.0	15.0	7.0	242.9		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,180	10,117	10,180	10,180	17,191	特記事項 バスによる通所が必要な利用者の増加に対応するため、平成15年度に送迎用ワゴン車を新規で運行委託した。			
	(内)委託費		千円	10,180	10,117	10,180	10,180	17,191				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20 0.00	0.20 0.01	0.20 0.01	0.23 0.00	0.13 0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,817	1,817	1,817	2,053				1,144
		非常勤職員分		千円	0	29	29	0				0
	総事業費 + +		千円	11,997	11,963	12,026	12,233	18,335				
	単位あたりコスト ÷		円	844,859	747,688	707,412	735,598	1,018,611				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	11,997	11,963	12,026	12,233	18,335					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		あけぼの作業所は、開設時(昭和63年)から通所バスの運行を業者に委託している。最近では、利用者の加齢と障害の多様化により、通所バスへの依存度が高まっている。また、平日のバスの空き時間及び土曜・日曜日等に施設行事等の臨時運行に活用しているほか、他課からの依頼による行事送迎等にも活用し、バスの有効活用に努めている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		バスの運行については、利用者の家族から強い支持がある。また、居住地が区内全域にわたるため通所時間が延びてきており、その時間短縮による心身の負担軽減が求められてきている。									
	今後の予測		今後、入所者の増加が見込まれる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	97.8	活動指標(2)の14年度達成率%	100.0	14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	バス利用対象者の増加に対応するため、従来の通所バスに加え、新たに送迎用のワゴン車を運行委託した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：自主的な通所の困難な利用者が施設のサービスを受けるためには、通所手段として、送迎バスの運行は欠かせない。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由：				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由：				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：通所バスの利用対象者を制限した場合、自主的な通所の困難な利用者の送迎は、家族等の心身の負担となってしまうため、困難である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由：				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) バス利用対象者の増加への対応及び長時間乗車する利用者の心身の負担軽減を目的として、受益者負担も視野に入れながら、障害者施設のバス運行のあり方や、代替通所手段の確保、運行契約内容の変更の可能性等について検討を行う。 スマートすぎない計画に基づくあすなる・ひまわり作業所の民間への移管状況、民営化の効果を見極めながら、あけぼの作業所についても検討を進めていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。 民営化の推進にあたっては、サービスの継続や負担について施設利用者及びその家族が不安を抱くことが考えられるため、実施時期や円滑な移管方法等について慎重な検討を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	毎年施設利用者が増加していくに伴い、現行のバスでの運行体制も非常に厳しい状況になっているが、新たな経費増を極力回避するために、16年度については今年度同様に区立障害者施設全体の中で対応していく方針とする。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者授産施設授産作業				整理番号	304		枝番号					
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091143		連絡先電話番号	3395-1441		昨年度整理番号	301			
係名				あけぼの作業所				上位施策名		No				
予算事業名				あけぼの作業所事業運営		コード	35950		障害者の社会参加や就労機会の拡大		33			
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 知的障害者福祉法 (2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準 (3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)									
	利用者により簡易な仕事を提供し、併せて生活や健康管理などの援助を通して、利用者の自立を支援する。				(1) 施設利用者数 (2) 月平均作業従事者数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)										
利用者が作業能力を伸ばし、収入を得ることにより責任を持って協力して働く喜びを知るとともに、生活能力を高める。また、一般就労の可能な人は、企業就労に積極的に取り組む。				(1) 障害者雇用支援事業団等への派遣就労者及び実習者の人数 (2) 作業従事率(月別出席率の平均)										
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績	18年度							
指標	活動指標(1)		人	163	169	184	184	123	70	38.0				
	活動指標(2)		人	160	164	184	172	114	59	34.3				
	成果指標(1)		人	3	6	8	11	9	12	91.7				
	成果指標(2)		%	86	87	90	85	86	86	98.8				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	37,321	39,694	44,187	33,397	27,661	特記事項 区立知的障害者授産施設は、次のとおり民営化が予定されている。 ・平成16年度…あすなる作業所 ・平成17年度…ひまわり作業所(15～16年度は運営委託) ※上記の平成18年度目標値(活動・成果指標)はあけぼの作業所からのデータである。					
	(内)委託費		千円	299	376	411	261	331						
	職員数(正規 非常勤)		人	25.19 2.90	25.96 2.80	28.16 2.94	28.08 2.75	20.80 1.90						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	228,801	235,795	255,777	255,087				188,963		
		非常勤職員分		千円	8,512	8,218	8,629	8,071				5,577		
	総事業費 ++		千円	274,634	283,707	308,593	296,555	222,201						
	単位あたりコスト ÷		円	1,684,871	1,678,740	1,677,136	1,611,712	1,806,512						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0		
		国・都等からの支出金		千円	21,958	24,165	27,047	18,406				24,300		
		特定財源計 +		千円	21,958	24,165	27,047	18,406				24,300		
差引:一般財源 -		千円	252,676	259,542	281,546	278,149	197,901							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		(1)経済の低迷で受注作業が減り、工賃支払額が落ちている。 【利用者一人当りの平均工賃月額】 H3年度実績 15,407円 ……→ H14年度実績 8,938円 (2)利用者の高齢化と障害の多様化 【利用者の平均年齢】 H4.4.1 27.0歳 ……→ H14.4.1 33.5歳											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		安定した工賃収入を期待している。多様な仕事のメニューを用意して欲しい。 知的障害者の一般就労は社会状況から見て難しく、福祉的就労の場を確保して欲しい等の要望がある。											
	今後の予測		経済状況が好転し受注作業が増えることは期待できない。よって、新たな視点での作業の開発の必要がある。また、利用者の高齢化はますます進むので、今後は利用者の個別ニーズに合わせた仕事の確保が必要となってくる。											

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	100.0	活動指標(2)の14年度達成率%	93.5	14年度予算執行率%	75.6
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	不景気による企業からの受注額の減少や利用者の高齢化による作業能率の低下により、利用者への工賃支払総額が予算額に比べて少なかったため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	新規企業の開拓に努めたが、従前からの企業の受注が減ったためさらに開拓が必要であった。就労を希望する人や能力に応じて、実習を勧めたり、てんとう虫や清掃に派遣するなど、多様な就労形態を奨励した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：一般就労へ移行できる人がまだ少ないため、福祉的就労の場として作業所の役割は重要である。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由：				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ない(理由)	理由：工賃については、実労働により発注元から得た額を歳入として受け取り、同額を歳出としているため、受益者負担の考え方に当てはまらない。				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：知的障害者にとって一般就労の機会はほとんど見込めない現状では、福祉的就労の場を必要としている人が今後も相当見込まれる。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：考えられる最小限の経費でまかなっており、コストをこれ以上落とすと、利用者の工賃の支払いにも影響してしまう。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ①受注先の開拓については、利用者一人あたりの時間単価が向上するような作業の受注に向け努力する。また、自主製品の開発及び常設展示等の活用で販路の拡大を図る。 ②スマートすぎなみ計画に基づきあすなろ・ひまわり作業所の民間への移管状況、民営化の効果を見極めながら、あけぼの作業所についても検討を進めていく。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ①受注先を開拓し受注作業が増加すると、自主製品の開発、生産の時間が取れなくなり、自主生産品の販路拡大に対応できなくなる。また利用者の高齢化が進み作業能率が低下している。今後受注先の開拓にあたっては、利用者の個々の能力を考慮して、開拓していく。また自主生産の時間も確保できるよう作業配分を考慮し受注量の調整をしていく。 ②民営化の推進にあたっては、実施時期や円滑な移管方法等について慎重な検討を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	スマートすぎなみ計画に基づき、平成16年度にあすなろ作業所を民営化する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		知的障害者授産施設クラブ活動及び行事等				整理番号	305		枝番号			
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091144		連絡先電話番号	3322-1020		昨年度整理番号	302	
係名		あすなる作業所				上位施策名			No			
予算事業名		あすなる作業所事業運営		コード	36050		障害者の社会参加や就労機会の拡大			33		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 知的障害者福祉法 (2) 知的障害者援護施設の整備及び運営に関する基準 (3) 杉並区立知的障害者援護施設条例、同施行規則							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他									
	あけぼの作業所・あすなる作業所・ひまわり作業所の利用者（主に中・軽度の知的障害者）											
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		各種行事（宿泊行事・レクリエーション・社会見学・まつり・体育行事等）及びクラブ活動などを実施する。		活動指標名(式) (1) 行事等への延べ参加者数 (2) クラブ等への延べ参加者数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		社会生活に必要なことがらを身につける。豊かな社会生活を体験する。		成果指標名(式) (1) 行事等への参加割合(延べ参加者数÷延べ入所者数×100) (2) クラブ等への参加割合(延べ参加者数÷延べ入所者数×100)								
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度		目標値	目標値に対する14年度の達成率%
							計画		実績		18 年度	
指標	活動指標(1)		人	1,568	1,359	1,405	881	767	455	51.6		
	活動指標(2)		人	6,482	6,695	7,818	6,387	1,920	896	14.0		
	成果指標(1)		%	89	88	90	89	93	90	98.9		
	成果指標(2)		%	85	86	90	77	83	80	96.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,573	6,886	8,467	7,057	6,604	特記事項 区立知的障害者授産施設は、次のとおり民営化が予定されている。 ・平成16年度...あすなる作業所 ・平成17年度...ひまわり作業所(15～16年度は運営委託) 上記の平成18年度目標値(活動・成果指標)はあけぼの作業所のみデータである。 クラブ等の参加については、平成14年度までストレッチ、体操教室、フィットネスも入れたが、健康管理の目的を持つので、同15年度から作業の位置付けとし、行事・クラブの扱いから外した(15年度計画値及び18年度目標値に反映している。)。			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	9.66 0.00	10.22 0.00	8.40 0.00	8.39 0.00	4.63 0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	87,742	92,828	76,297	76,206				42,054
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	95,315	99,714	84,764	83,263	48,658				
	単位あたりコスト ÷		円	60,788	73,373	60,330	94,510	63,439				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0				0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	95,315	99,714	84,764	83,263	48,658					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		行事実施内容、実施回数及び実施場所を変更した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		余暇活動の充実に貢献できる事業として利用者及びその家族に期待され、また、楽しみとなっている。高齢化、障害の重度化、他障害(身体障害・精神障害)の重複等に対応できる行事の実施が望まれている。									
	今後の予測		利用者個々の状況が変化し、画一的なプログラムでは適切な対応ができなくなってくる。家庭の力の低下傾向も予想され、本事業の充実がますます望まれる。今後は、地域の理解を得、連携を深めることが重要になってくる。									

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	62.7	活動指標(2)の14年度達成率%	81.7	14年度予算執行率%	83.3
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	各行事で利用者の不参加があったことにより、参加予定人数に基づく予算額に対して、執行残が生じたため(宿泊行事が最も差額が大きい)。					
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	スマートすぎなみ計画に基づく障害者施設の運営委託及び民営化のスケジュールに従い、ひまわり作業所については平成15年度に運営委託(同17年度に民営化予定)を行った。一方、あすなる作業所については同16年度に民営化するための検討及び準備を行った。 地域情報を収集し関係機関と連携し、地域社会と積極的な関わりを持った。 個別支援計画の作成実施により、クラブ活動や行事は個々利用者のニーズに合った内容・方法に改められた。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：ノーマライゼーションの実現のためには、障害者自身の自立とそれに向けての援助が重要である。また、社会生活への意欲を高めるためには、より充実した生活を体験することが欠かせない。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 見直す余地がある(改革案の概要へ)	理由：				
	(3) 成果を向上させることができますか できる(へ) 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由：				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：すべての利用者に実施すべきである。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ない(理由)	理由：現状でも必要最小限の経費で実施している。				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 受益者負担については、支援費制度への新たな取り組みの中で検討する。 スマートすぎなみ計画に基づくあすなる・ひまわり作業所の民間への移管状況、民営化の効果を見極めながら、あけぼの作業所についても検討を進めていく。 個々の利用者のニーズに合った行事等を実施しているが、今後さらに検討を加え、より充実したプログラムを作っていくように努める。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。 民営化の推進にあたっては、実施時期や円滑な移管方法等について慎重な検討を行う。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	スマートすぎなみ計画に基づき、平成16年度にあすなる作業所を民営化する。				

平成15年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		身体障害者通所施設利用者通所バスの運行				整理番号	306		枝番号				
所属部課名		保健福祉部障害者施設課		コード	091131		連絡先電話番号	3783		昨年度整理番号	311		
係名		管理係		上位施策名						No			
予算事業名		こすもす生活園事業運営		コード	36250		障害者の社会参加や就労機会の拡大				33		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 身体障害者福祉法 (2) 杉並区立身体障害者通所施設条例、同施行規則 (3) 杉並区立身体障害者通所施設運営要綱								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他										
	こすもす生活園、なのはな生活園の利用者（重度の身体障害者） 平成15年4月「なでしこ生活園」が新規に開設		活動指標名(式)										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 施設の利用者を、民間のバスにより施設まで送迎する。		(1) バス利用者数(1日あたり平均) (2) バス運行回数(1通所1回×台数(3台)×2施設) 平成15年度からは、上記に1台×1施設が加わる。										
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 施設利用者の通所手段を確保する。		成果指標名(式) (1) バス通所に1時間以上要する利用者数(通所時1回あたり平均)÷バス利用者数(通所時1回あたり平均) (2)											
区分		単位	12年度実績		13年度実績		14年度		15年度計画	目標値		目標値に対する14年度の達成率%	
							計画	実績		18年度			
指標	活動指標(1)		人	37.3		35.9		52.0	36.9	60.0	62.0		59.5
	活動指標(2)		回	1,398		1,392		1,422	1,416	1,669	1,666		85.0
	成果指標(1)		%	18.8		30.6		25.0	26.0	24.6	10.0		260.0
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	71,921		71,921		70,096	70,089	81,642	特記事項 平成15年4月1日付け「なでしこ生活園」開設に伴い、通所バスが1台増となった。		
	(内)委託費		千円	71,921		71,921		70,096	70,089	81,642			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.42	0.00	0.63	0.00	0.62	0.00	0.62			0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,815		5,722		5,631	5,586			7,584
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0			0
	総事業費 ++		千円	75,736		77,643		75,727	75,675	89,226			
	単位あたりコスト ÷		円	2,030,456		2,162,758		1,456,288	2,050,813	1,487,100			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0	0			0
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0			0
差引:一般財源 -		千円	75,736		77,643		75,727	75,675	89,226				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		こすもす生活園(平成5年開設)、なのはな生活園(平成9年開設)、なでしこ生活園(平成15年開設)ともに、開設時から業者に運行を委託している。また、平日のバスの空き時間及び土曜・日曜日等に施設行事等の臨時運行に活用しているほか、他課からの依頼による行事送迎等にも活用し、バスの有効活用に努めている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		利用者は一般交通機関の利用が困難なため、利用者の家族からは感謝されている。また、居住地区内全域にわたるため通所時間が延びてきており、その時間短縮による心身の負担軽減が求められてきている。 なお、家族から乗降場所など、よりきめの細かいサービスの要望が出されている。										
	今後の予測		今後、入所者の増加が見込まれる。										

平成15年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の14年度達成率%	71.0	活動指標(2)の14年度達成率%	99.6	14年度予算執行率%	100.0
14年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)						
前年度の改革案の取り組み状況 (15年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはそのその概要を明記)	平成15年度に開設した「なでしこ生活園」については、新規に通所バスを運行委託することにより、同生活園(定員15名)の利用者のうち8名分の送迎手段を確保した。					
結果評価 (目的妥当性・有効性・効率性)	(1) 施策への貢献度は大きいですか 貢献度 大(理由)	理由：重度の身体障害者が施設のサービスを受けるためには、通所手段として、送迎バスの運行は欠かせない。				
	(2) 区が行う必要がありますか。民間や国・都との役割分担は適切ですか 民間・国・都ではなく区が行うべきである(理由)	理由：重度身体障害者通所施設は、当分の間直営で行う方針であるため。				
	(3) 成果を向上させることができますか ある程度できる() 成果向上のための方策は何ですか 具体的な内容を選択し、改革案の概要へ 手段・方法の変更	理由：				
	(4) 受益者負担の見直し余地はありますか ある(改革案の概要へ)	理由：				
	(5) 成果を維持して対象を縮小できますか又は対象を拡大して成果を上げることはできますか 対象を変更するのは適切でない(理由)	理由：通所バスの利用対象者を制限した場合、対象でなくなる利用者の送迎は家族等の心身の負担となってしまうため困難である。				
	(6) コストを下げる余地はありますか ある(手段・方法の変更)	理由：				
今後の事業のあり方	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> サービス増 <input type="radio"/> 改善余地なし <input checked="" type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 統廃合					
中長期的な視点	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 入所者の増加への対応及び長時間乗車する利用者の心身の負担軽減を目的として、受益者負担も視野に入れながら、障害者施設のバス運行のあり方や、代替通所手段の確保、運行契約内容の変更の可能性等について、検討を行う。					
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者(家庭)に負担を求めることについては、本人及びその家族の十分な理解を得る必要がある。					
短期的な視点	(1) 翌年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	毎年施設利用者が増加していくに伴い、現行のバスでの運行体制も非常に厳しい状況になっているが、新たな経費増を極力回避するために、16年度については今年度同様に区立障害者施設全体の中で対応していく方針とする。				